



第450回番組審議会

1. 日 時 平成22年 1月19日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 12名

出席委員 12名

出席委員	委員長	橋田 純一
	副委員長	佐藤 晴久
	委員	嶋村 正
	委員	上野 克幸
	委員	清野 雅子
	委員	森本 雅司
	委員	宮 勉
	委員	千葉 幸長
	委員	安藤 茂
	委員	望月 善次
	委員	福田 泰司
	委員	坂本 修

社側出席者	石井 修平(専務取締役)
	阿部 孝夫(常務取締役)
	淵沢 行則(報道制作局長)
	柴柳 二郎(報道制作局アナウンス部長)

事務局	山信田 寧(編成技術局長)
	畠 義真(編成技術局編成部長)

4. 議 題

1. 開局 40 周年記念特別番組

「見つめた、伝えた。いわて・ニッポン 40 年」

11 月 23 日（月） 15:55～16:50 放送

12 月 29 日（火） 15:55～16:50 再放送

2. その他ご覧になった番組についてのご意見

5. 資 料

資料として以下のものを配布

- ・ 視聴者からのご意見

6. 議事の概要

委員側意見

- ・ 短時間の中で 40 年の出来事をリアルで的確に構成しており、ゲストや時の人の登場も番組を盛り上げた感じがして、印象に残る番組だった。
- ・ 10 年単位に区切って日本全体と岩手のニュースを分けて放送する構成だったが、たとえばジャンル別に過去から現在までを追っていくと、それぞれのジャンルの 40 年の変化がわかると思う。
- ・ コメンテーターの人选が番組をより引き立てた。中間のクイズは、開局記念番組としてクオリティ的にもう少し詰めても良かったのでは。
- ・ 10 年 1 区切りとして当時のメロディとともに映像が流れ、その時代を代表するイベントを担当したアナウンサーや時の人がフォローする展開でまとめられており、あっという間の 40 年だった。
- ・ テーマの取捨選択に携わったスタッフの年代や男女比率などによって取り上げるものが変わってくると思うが、そのあたりのハンドリングはどのように行われたのか知りたい。
- ・ 番組の始まりは西暦と元号で紹介していたものが、途中のニュース紹介時から西暦のみの表示になった。元号も一緒に表示して欲しかった。
- ・ 40 周年記念番組というのであれば、局としての 40 年の変遷をもう少し盛り込んで良かったのでは。

TVI 側

- ・ 貴重なニュース映像と新聞の紙面などを使って 40 年を編年体で振り返る形にしたのは、自分たちのこれまでの生き方、暮らしなどと重ね合わせながら振り返るようという意図です。

- ・ ゲストの選定に関しては、岩手に軸足を置いて暮らしている方でなおかつ幅広い視野がある方、テレビというのをご理解いただいて、こういう場で遺漏なく話して下さる方ということをお願いした。
- ・ 項目に関しては、過去 40 年間の年表類とか年鑑類など全部掘り起こしてセレクト。自分たちの暮らしに大きな関わりを持つニュース、世界的にも日本的にもニュースバリューを持つ項目という基準で選定。
- ・ クイズについては、今回の番組形式だと、映像がトントンと行き、ゲストのお話も達人なので、番組がスムーズに流れすぎてしまう。逆にそれを壊す意味で挿入。
- ・ 番組を作って思ったのは、この 40 年は何でも右肩上がりではなく、逆に後退している部分も多いということ。そんな中、誰もが喜び、懐かしく振り返れるのは、スポーツ分野での地元選手の活躍。スポーツを柱にして組み立てた。

7. 審議内容

別載のとおり

8. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特記事項はないが、関連部署に議事録を配布するなど関係者に審議の内容を伝えた。

9. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ・ 自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」

平成 22 年 1 月 26 日(火)午前 11 時 45 分～11 時 52 分放送)で、審議の概要を放送。

- ・ 支社・支局に議事録を設置
- ・ 当社のインターネットのホームページで議事録を公開